



あいさつ チャレンジ 学び合い 笑顔あふれる水引小

校長 紀 章子



1月8日から3学期が始まり、子ども達の元気な声が学校に戻ってきました。「お正月準備を手伝いました」「従妹とたくさん遊びました」など、冬休みの楽しいお話をたくさん聞かせてくれました。今年も子どもたちの笑顔がいっぱい輝く年になりそうです。

3学期は1年間のまとめの時期となります。53日と短い期間ですが、子どもたち一人一人が、自分の成長を実感できるよう、しっかりと振り返りを行っていきたいと考えます。保護者の皆様、地域の皆様、本校の教育活動に引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

次の学年に向けてジャンプする3学期に!

始業式では、3学期は「今の学年のまとめをし、次の学年の準備をする学期」と話をしました。基礎を固め向上できた1・2学期を踏まえ、次の学年に向けてホップ・ステップ・ジャンプ、進級・進学を見据え、「その学年で付けたい学習面・生活面の力を確かなものにしていく」「自分の目標をしっかりと持ち、その達成に向けて努力を続ける」をやりきる三学期にしてほしいと思います。まずは目標をもつことが第一歩です。今の自分に合った目標をもち、そのために具体的にどうすれば自分の力を伸ばせるのかを考えることが大切です。結果だけを重視せず、その過程のがんばりをしっかりと見取り、認め励ます指導で「努力を続ける力」も育てていきたいと思います。

ご家庭でも「今、学校で何に取り組んでいるのか」積極的に話題にするとともに、温かい応援の言葉をかけていただけましたら幸いです。

「笑顔で感謝」する3学期に!

「搗いた餅より心持ち」ということわざがあります。搗いた餅はとってもおいしいです。しかし、餅を搗くまでにたくさんの準備がいります。米を育て収穫する、餅つきの道具を準備する、米を研いで水につけ、蒸す、きねとうすでつく、丸める、味をつけるなどなど、たくさんの人々の仕事があって初めておいしくたべることができます。餅を用意してくれた人の気持ちがうれしいし、ありがたいと思う、感謝の心。3学期は身の回りの「ありがとう」をたくさん見つけて、「ありがとう」を伝え、笑顔あふれる水引小にしていきたいと思います。



学校応援ボランティア

今年度も年間を通じて様々な教育活動で学校応援ボランティアのみなさんに協力をいだいています。学校応援ボランティアのみなさんの協力により、充実した教育活動が行えています。子どもたちも職員も毎回楽しみにしており、ご協力に感謝しています。

○読み聞かせ

女団連（クローバー）のみなさんに、1・2年生を対象にして月に2～3回、読み聞かせをしていただいています。子どもたちは、毎回楽しみにしています。



○わらべ歌・昔遊び

1・2年生は、地域の指導者を招き、わらべ歌と一緒に歌ったり、昔遊びを教えていただいたりして楽しく交流しました。



○学習支援

女団連（クローバー）のみなさんに、家庭科の調理や裁縫の実習、理科の実験等で技能面や安全面の支援をいただいている。子どもたちは、安全に気を付けながら集中して学習に取り組みました。



○寄田三尺棒踊り

ふるコミュ科の学習では、3・4年生が、地域の伝統芸能である寄田三尺棒踊りを、保存会のみなさんの指導のもと、練習に励み、小中合同学習発表会で披露しました。



○陸上競技

市小学校陸上記録会に向けて、市陸上競技会の方から5・6年生の選手を対象に陸上競技の指導をしていただいている。子どもたちは、指導の成果を出そうと健闘しました。



○綱引き

毎年6年生は、市小学校綱引き大会に向けて、地域の方から綱引きの指導をしていただいている。基本の姿勢や綱の引き方を学ぶことで、自信をもって大会に参加できました。

2月4日に4・5年生が、講師を招き、和楽器について学習する予定です。



左側は、五郷会に設置していただいた門松への感謝をこめて、右側は、市耕地林務水産課より寄贈されたベンチへの感謝をこめて2年生が作成したものです。